

山田クリニック ぽすと

平成22年 8月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.eonet.ne.jp/~yamadaclinic>

診察室から (くも膜下出血 その3)

くも膜下出血の話も今回で最後です。前回にくも膜下出血の治療(手術、カテーテル)の話をしました、これらの治療が終了してから現れてくる手ごわい合併症があります。それは『血管れん縮』と呼ばれるもので、脳内の血管(動脈)が糸のように細くなり、十分な血液が脳に流れなくなり、広い範囲の脳梗塞を起こすものです。そのために、半身麻痺や植物状態の後遺症がみられ、くも膜下出血の治療に影響を与えるもっとも大きな原因がこの血管れん縮です。手術やカテーテル治療がうまくいっても、数日してからこの血管れん縮の症状が現れてきますので、手術後の状態が良くても、発症から2週間は集中的な治療が必要になります。私が医師になった頃から血管れん縮の治療は集中的に研究されていますが、30年近い時間が経過したにもかかわらず決定的な治療法はない状態です。今後、血管れん縮の問題が解決できれば、くも膜下出血の治療成績は画期的に改善すると思われれます。

検査室より

放射線って なーに？

放射線には、X線、アルファ線、ベータ線、ガンマ線などがあります。放射線を出すものを放射性物質と呼び、放射線を出す性質のことを放射能と呼んでいます。ニュースなどで「放射能漏れ」と表現されますが、正確には「放射性物質漏れ」と言うのが正しい言い方です。

では、放射線って怖いものなのでしょうか？記憶に新しいところで、3人の作業員さんが大量に被爆した東海村臨界事故のような場合は怖いものですが、少ない放射線はそれほど怖くはありません。ラドン温泉などのごく微量の放射線は体の細胞を活性化して逆によいとも言われています。

温泉に含まれる放射線は地球の大地から、空からは宇宙線(放射線)が降りそそいでいます。また、家庭のテレビや照明からも僅かながら発生しています。私たちは日常生活において知らず知らずのうちに放射線をあびているのです。これらは、自然放射線と言われており年間約2ミリシーベルトです。ちなみに 胸のX線写真は約0.1ミリシーベルト以下です。

トピックス



夏の季語の“草いきれ”とは、蒸されるような暑さのことをいうそうです。農作業の草取りは、まさに、この草いきれの中で行うかと思いますが、昼間はさけ、涼しい朝、夕におこないましょう。もちろん麦茶をお忘れなく。

当院の診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	△	○	○	○
午後	○	×	○	×	○	×

午前診察 9:00~12:00 △:水曜日は11:00まで

午後診察 4:00~6:00

ご連絡

保険証提示のお願い

毎月1回は、保険証の提示をお願い致します。

